

浅草三丁目景観色彩プロジェクト

景観色彩プロジェクトの目的

江戸の町人文化の情緒を、未だ色濃く感じさせる浅草は衣・食・住の歴史を持つ三社祭、お酉様、朝顔市など多くのお祭りが一年をととして街に活気と賑わいをあたえています。

しかし、古くからの町屋は高層ビルによって分断され、マンションなどの増加によって、近隣との連携力が低下しつつあります。

そこで環境色彩研究会では、美しい街並みを維持し創造してゆくために、建物外装色・看板色の測定、及び電線ケーブルの地中化も念頭に入れた基礎調査を行うことにしました。

調査は地元の住民組織によるまちづくりに協力するために浅草三丁目と浅草寺を取り巻く多くの通りを選んで、その区域の景観の特長や色彩を採集し、分析を行い、観音裏と呼ばれる浅草三丁目の景観将来像を組み立てる材料にするために、このプロジェクトを発足させました。

